

# 2019年度上半期 業績の概要

2019年11月22日

日本生命保険相互会社  
Nippon Life Insurance Company

# 目次

## 1 グループ概況

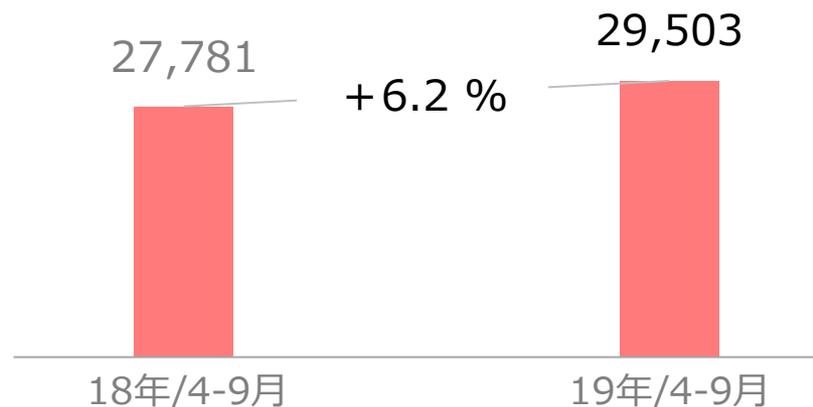
## 2 国内生命保険事業

## 3 業績見通し

【参考】グループ各社の概況

- 2019年度上半期決算の連結業績は、前年同期比で増収・減益。
- 保険料等収入は、日本生命にて2019年4月に発売した新商品「入院総合保険<sup>ニュー</sup>in<sup>ワン</sup>1」や年金保険等の好調な販売に加え、日本生命及びニッセイ・ウェルス生命での銀行窓販商品の販売増加等により増加。
- 基礎利益は、保険料率改定等により保険関係損益が減少したことや、利差益の減少を主因に減少。

保険料等収入 (単位：億円)



基礎利益

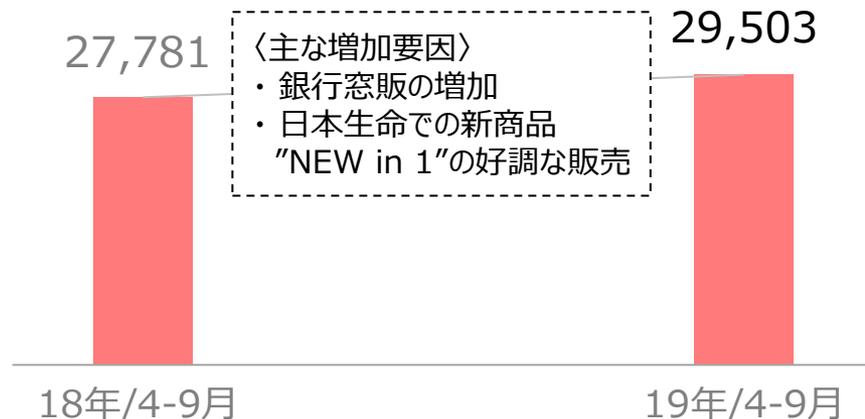


※ はなさく生命を2019年度第1四半期から連結反映（以降同様）

- 日本生命における新商品や年金保険等の貯蓄性商品の好調な販売に加え、銀行窓販の増加もあり前年同期比で増収。
- 銀行窓販は、日本生命にて2018年10月に商品改定を行ったことで外貨建商品の販売が増加したことや、円建商品への根強いニーズ、ニッセイ・ウェルス生命の増加等により増収を確保。

## 保険料等収入

(単位：億円)

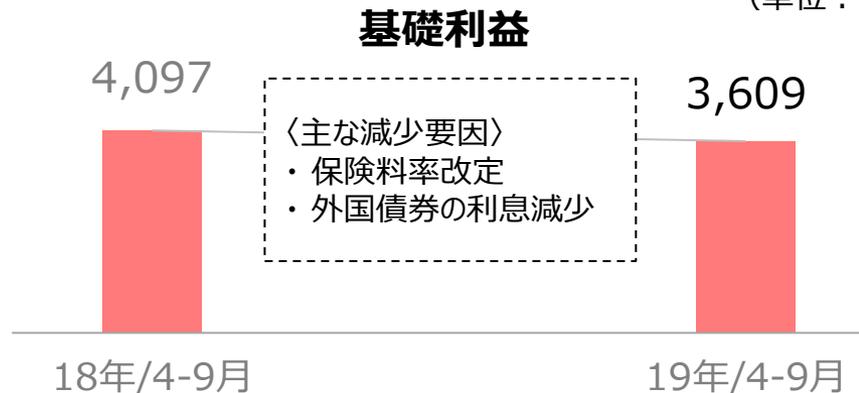


	2019年 4-9月	前年同期比
保険料等収入	29,503	+6.2%
日本生命	23,026	+5.4%
大樹生命	3,782	+9.2%
ニッセイ・ウェルス生命	1,587	+23.0%
MLC	905	▲8.3%

※ 合計値は連結保険料等収入（日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、MLC Limited（以下、MLC）、米国日生を対象に算出）

- 保険関係損益の減少と利差益の減少により前年同期比で減益。
- 保険料率改定により保険関係損益が減少したことに加え、円高によって外国債券等の利息が減少したことを主因として減益。

(単位：億円)



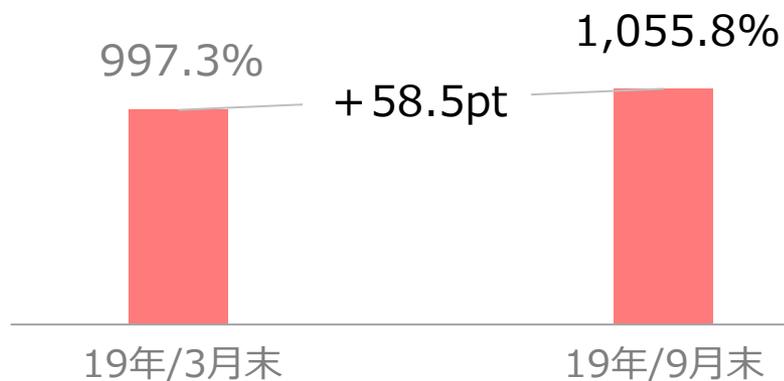
	2019年 4-9月	前年同期比
基礎利益	3,609	▲11.9%
利差益	1,197	▲5.8%
保険関係損益	2,384	▲12.8%
日本生命	3,315	▲8.6%
大樹生命	161	▲34.9%
ニッセイ・ウェルス生命	134	+1.6%
MLC	20	▲67.3%

※ 合計値は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外生命保険子会社・関連会社及び国内外のアセットマネジメント事業子会社・関連会社の税引前純利益に、持分比率、金利変動要因の除外、一部の内部取引調整等を行い算出

※ 利差益、保険関係損益は国内生保の合計

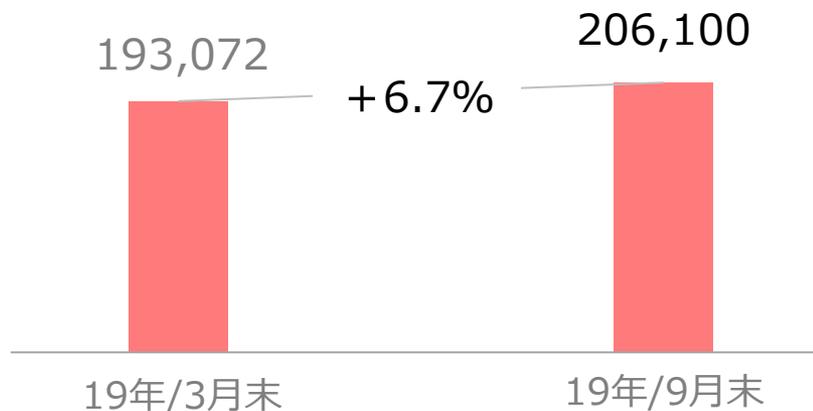
- ソルベンシー・マージン比率は、諸準備金等の積増や劣後ローン調達を通じて、自己資本を着実に積増したこと等により前年度末から増加。
- 実質純資産は、自己資本の積増に加え、国内外の金利低下によって有価証券の含み益が増加したことを主因に前年度末から増加。

## ソルベンシー・マージン比率



## 実質純資産

(単位：億円)



## 損益計算書

- 経常利益及び中間純剰余は前年同期比で減少。

(単位：億円)

	2019年 4-9月	前年同期比
経常収益	41,022	+2.3%
保険料等収入	29,503	+6.2%
資産運用収益	9,954	▲8.7%
経常費用	39,484	+5.5%
保険金等支払金	22,506	+2.7%
責任準備金繰入額	8,187	+13.0%
資産運用費用	2,916	+17.6%
事業費	4,054	+0.8%
経常利益	1,537	▲42.5%
(基礎利益)	3,609	▲11.9%
中間純剰余(利益)	1,337	▲5.4%

## 貸借対照表

- 総資産・責任準備金ともに、前年度末から増加。

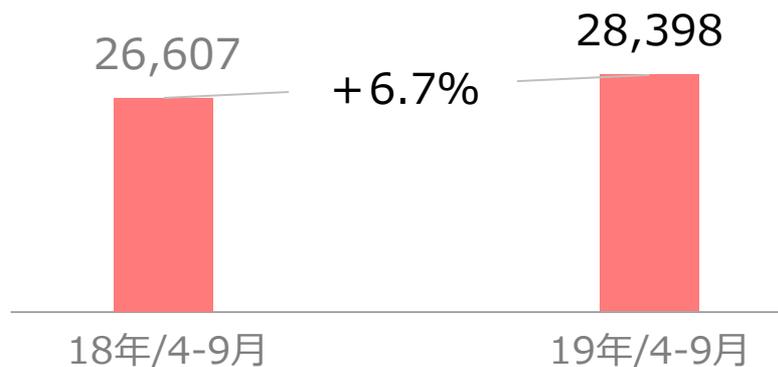
(単位：億円)

	2019年 9月末	前年度末比
総資産	811,561	+3.0%
うち有価証券	659,082	+2.2%
うち貸付金	85,184	+0.1%
うち有形固定資産	19,070	▲0.0%
負債	736,851	+2.6%
うち保険契約準備金	663,593	+1.3%
うち責任準備金	649,053	+1.3%
うち価格変動準備金	15,166	+3.9%
純資産	74,709	+7.1%

- 国内における保険料等収入は、個人保険・個人年金保険の増加を主因に前年同期比で増加。
- 営業職員等チャネルは、日本生命の新商品や年金保険等の販売は好調であったものの、海外の金利低下により、大樹生命の外貨建商品の販売が減少したことで減収。
- 銀行窓販チャネルは、日本生命、ニッセイ・ウェルス生命の販売増により増収。
- 団体保険・団体年金保険は減収。

### 保険料等収入（国内計）

（単位：億円）



	2019年 4-9月	前年同期比
保険料等収入（国内計）	28,398	+6.7%
うち個人保険・個人年金保険	19,651	+6.8%
営業職員等チャネル	15,882	▲3.3%
銀行窓販チャネル	3,769	+90.4%
うち団体保険	1,391	▲7.8%
うち団体年金保険	6,236	▲1.9%

※ 日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の合計値

- 日本生命の新商品の販売が好調であったことに加え、銀行窓販は増加したものの、法人向け商品の販売が減少したことや、日本生命にて2018年4月に発売した「特定重度疾病保障保険“だい杖ぶ”」の好調な販売の反動、大樹生命の外貨建商品の販売減少を主因として、個人保険・個人年金保険の新契約は減少。

(単位：億円、万件)

### 個人保険・個人年金保険

	年換算保険料		件数		保障額等	
	2019年 4-9月	前年同期比	2019年 4-9月	前年同期比	2019年 4-9月	前年同期比
国内計	2,046	▲2.7%	261	▲0.7%	44,433	▲4.6%
営業職員等チャンネル	1,139	▲18.5%	255	▲1.8%	40,179	▲8.1%
銀行窓販チャンネル	906	+28.5%	6	+75.5%	4,254	+49.5%
日本生命	1,152	▲7.3%	248	▲1.0%	38,509	▲2.4%
大樹生命	188	▲17.4%	10	▲8.6%	4,502	▲15.1%
ニッセイ・ウェルス生命	696	+10.3%	1	+22.6%	1,421	▲22.2%

※ 国内計・チャンネル別内訳は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の合計値

- 個人保険・個人年金保険の保有契約は、年換算保険料、保障額等は減少、件数は増加。
- 団体保険、団体年金保険は増加。

(単位：億円、万件)

### 個人保険・個人年金保険

	年換算保険料		件数		保障額等	
	2019年 9月末	前年度末比	2019年 9月末	前年度末比	2019年 9月末	前年度末比
国内計	45,247	▲0.2%	3,547	+2.0%	1,803,537	▲0.9%
日本生命	37,453	▲0.1%	3,253	+2.1%	1,580,062	▲0.8%
大樹生命	5,208	▲0.3%	260	+0.3%	191,986	▲2.0%
ニッセイ・ウェルス生命	2,576	▲2.5%	32	+1.9%	31,489	▲1.2%

### 団体保険・団体年金保険

	団体保険 (保障額等)		団体年金保険 (受託資産等)	
	2019年 9月末	前年度末比	2019年 9月末	前年度末比
国内計	1,102,395	+0.5%	169,868	+1.2%
日本生命	980,462	+1.0%	133,397	+1.2%
大樹生命	121,932	▲3.2%	7,945	▲1.9%

※ 個人保険・個人年金保険の国内計は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の合計値

※ 団体保険・団体年金保険の国内計は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命の合計値

※ 団体年金保険の国内計には、ニッセイアセットマネジメントの投資顧問残高（23,967億円）、確定拠出年金の投資信託（日本生命販社分4,546億円）を含む

- 2019年度は日本生命グループ計で、前年度から減収・減益を見込む。
- 保険料等収入は、ニッセイ・ウェルス生命では増収を見込む一方、大樹生命での外貨建保険の販売減少、日本生命での団体年金の減少や法人向け商品の販売減少等により減少を見込む。
- 基礎利益は、2018年度の保険料率改定の影響による危険差益の減少や、低金利・円高による利息減少を主因に減少を見込む。

(単位：億円、百万豪ドル)

	保険料等収入		基礎利益	
	2018年度	2019年度 見込み	2018年度	2019年度 見込み
グループ計	60,692	減少	7,713	減少
日本生命	47,751	減少	6,782	減少
大樹生命	7,677	減少	438	減少
ニッセイ・ウェルス生命	2,936	増加	262	減少
MLC	1,940	減少	103	減少

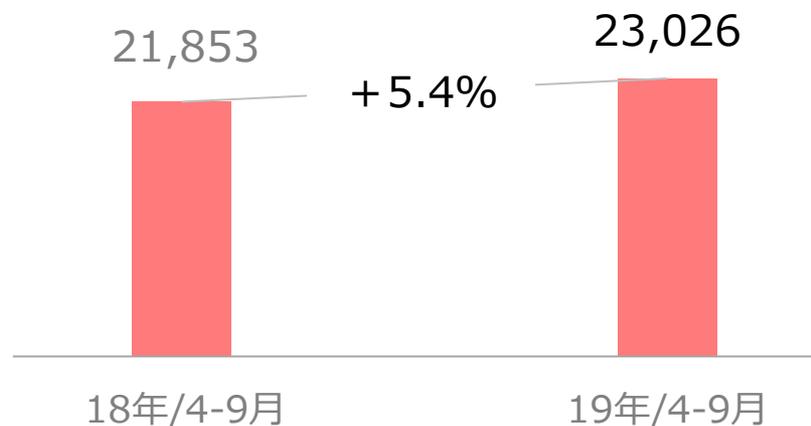
- ※ 保険料等収入のグループ計は、連結保険料等収入（日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、MLC、米国日生を対象に算出）。  
なお、大樹生命の保険料等収入については、外貨建保険の販売増加により増加の計画としていたが、海外金利の低下により減少見通しに変更
- ※ 基礎利益のグループ計は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外生命保険子会社・関連会社及び国内外のアセットマネジメント事業子会社・関連会社の税引前純利益に、持分比率、金利変動要因の除外、一部の内部取引調整等を行い算出
- ※ MLCの保険料等収入は収入保険料。基礎利益は税引前利益に持分比率、金利変動要因等の除外を行い算出（現地通貨ベース）

**【参考】**  
**グループ各社の概況**

# 【参考】日本生命（単体）：収支

- 日本生命単体は前年同期比で増収・減益。
- 保険料等収入は、2019年4月に発売した入院総合保険及び年金保険の好調な販売に加え、2018年10月に商品改定を行ったことで外貨建商品の販売が増加したことや、円建商品への根強いニーズによって銀行窓販チャネルが増加したこと等から増加。
- 基礎利益は、保険料率改定により危険差益が減少したことに加え、円高によって外国債券等の利息が減少したことを主因として減益。

## 保険料等収入 (単位：億円)



## 基礎利益



	2019年 4-9月	前年同期比
基礎利益	3,315	▲8.6%
利差益	1,203	▲5.6%
費差益	173	▲13.8%
危険差益	1,938	▲9.9%

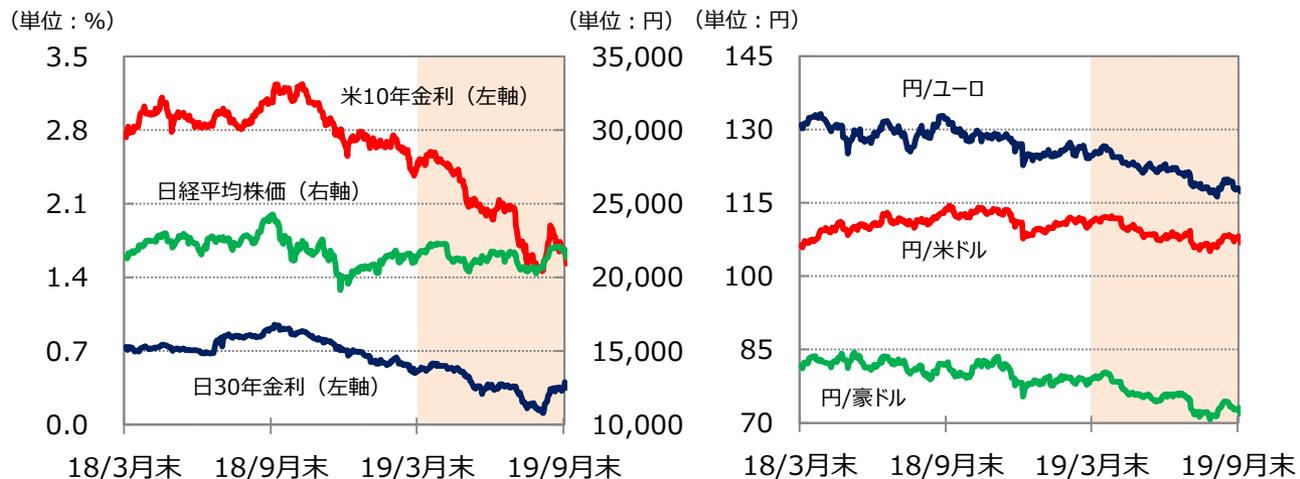
# 【参考】日本生命（単体）：資産運用

- 資産運用収支は前年同期より減少。
- 資産運用収益は、有価証券の売却益が減少したことを主因に減少。
- 資産運用費用は、有価証券売却損や金融派生商品費用の減少を主因に減少。

## 資産運用収支（一般勘定） （単位：億円）

	2019年 4-9月	前年同期差
資産運用収益	8,060	▲ 531
うち利息及び配当金等収入	7,172	▲ 64
うち有価証券売却益	865	▲ 369
資産運用費用	1,690	▲ 74
うち有価証券売却損	151	▲ 510
うち有価証券評価損	496	+ 453
うち金融派生商品費用	341	▲ 188
資産運用収支	6,369	▲ 457

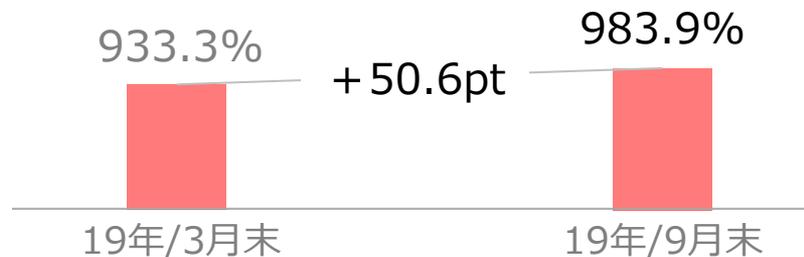
## マーケット状況



# 【参考】日本生命（単体）：健全性

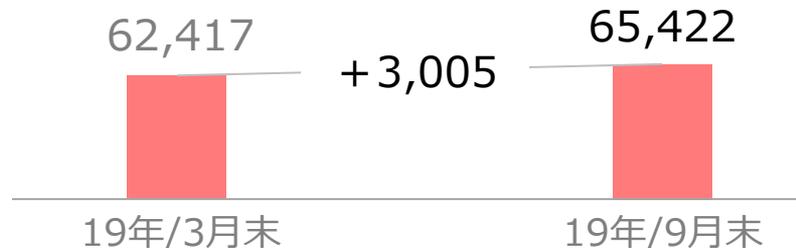
- 劣後ローン調達に加え、危険準備金・価格変動準備金の着実な積増等によって、自己資本が前年度末から増加したこと等によりソルベンシー・マージン比率は増加。
- 有価証券の含み益は、金利低下に伴う内外債券の含み益の増加を主因に前年度末から増加。

## ソルベンシー・マージン比率



## 自己資本

(単位：億円)



## 有価証券 含み損益

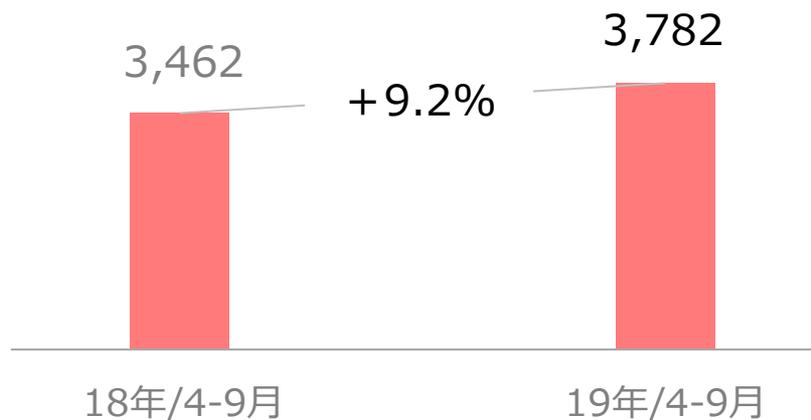
(単位：億円)

	2019年 9月末	前年度末差
時価のある有価証券	118,961	+9,988
公社債	46,339	+3,349
国内株式	40,747	▲ 1,029
外国証券	28,456	+6,941
その他	3,417	+727

(単位：億円)

- 大樹生命は前年同期比で増収・減益。
- 保険料等収入は、再保険契約からの収入増加により増収。  
ただし、再保険収入除きでは減収。
- 基礎利益は、保険料率改定の影響に加え、海外金利の低下によって外貨建保険の最低保証に係る責任準備金の繰入が増加したこと等により危険差益が減少したことを主因に減益。

## 保険料等収入



## 基礎利益

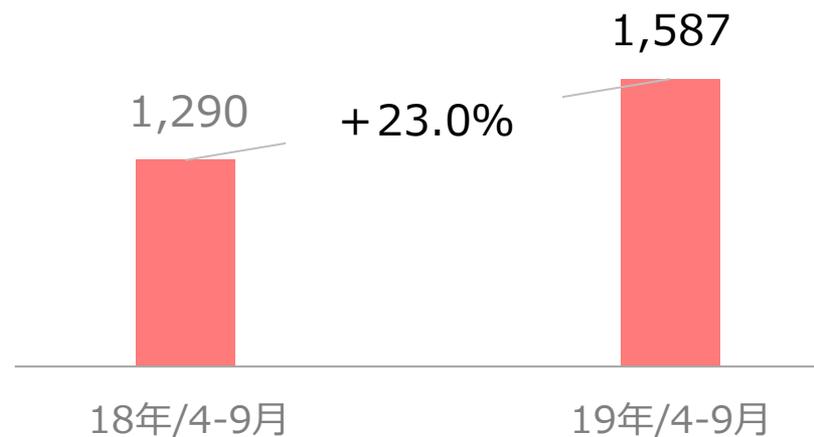


※ 単体の数値を記載

(単位：億円)

- ニッセイ・ウェルス生命は前年同期比で増収・増益。
- 保険料等収入は、米ドル建商品の販売が好調であったことを主因に増加。
- 基礎利益は、利息及び配当金等収入の増加を主因に増加。

## 保険料等収入



## 基礎利益

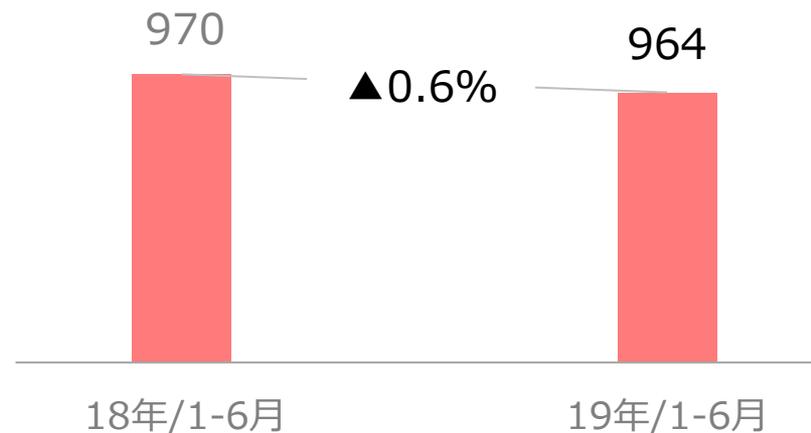


※ 単体の数値を記載

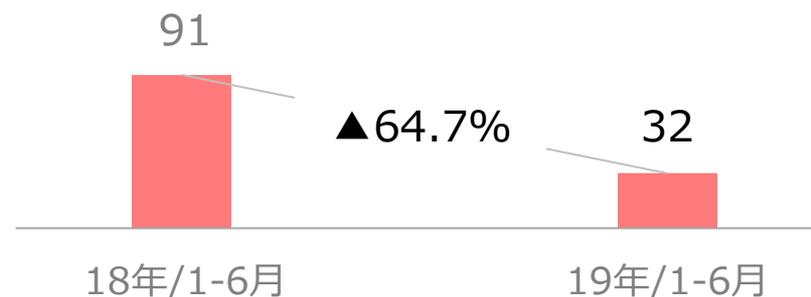
(単位：百万豪ドル)

- MLCは、前年同期比で減収・減益。
- 収入保険料は、個人保険の販売は好調であった一方、団体保険・銀行窓販が減少したことから減少。
- 基礎利益は、所得補償保険の支払費用増加を主因に減少。

## 収入保険料



## 基礎利益



- ※ 単体の数値を記載
- ※ 上半期決算では1-6月期を連結反映
- ※ 収入保険料は、手数料を除いた数値を記載
- ※ 基礎利益は、税引前利益から金利変動等の影響を除いた数値を記載